

## 製 品 安 全 デ 一 タ シ 一 ト

平成8年 5月 1日改訂 平成21年 1月10日更新

## 1. 製造者情報

【会社名】株式会社 オーデック

【住所】東京都大田区東馬込2-19-10第7下川ビル

【担当部門】エアゾール製品担当部

【電話番号】03-3774-5259 【FAX番号】03-3776-0881

【緊急連絡先】03-3774-5259/03-3771-6803

## 2. 製品名 ラスパック

## 3. 製品仕様 エアゾール

## 4. 物質の特定

【单一製品・混合物の区別】 混合物

【化学名】塗装形可剥製プラスチック塗料

【成分、含有量及びその他情報】

〔含有成分〕	〔含有量〕	〔既存化学物質番号〕	〔CAS〕
ビニール系共重合樹脂	10%	登録確認済	登録確認済
*トルエン	8%	3-2	108-88-3
MIBK(メチルイソブチルケトン)	4%	2-542	108-10-1
MEK(メチルエチルケトン)	25%	2-542	78-93-3
可塑剤		3-1303	87-74-2
顔料			
DME(ジメチルエーテル)	48%	2-360	115-10-6
JIS規格: Z 1708	有機溶液形	*但し原液として	
国連分類: クラス3 (引火性液体 包装等級)		*但し原液として	
国連番号: 1263 (塗料)		*但し原液として	

## 5. 危険・有害性の分類

【分類の名称】引火性液体・急性毒性物質及び高圧ガス

【危険性】危険度を0~4の段階で表示

火災3(危険大)

人体2(危険)

反応0(危険無)

1. 有毒である。

2. 可燃性である。

【有害性】有毒性 蒸気は目、鼻、咽喉を刺激し、麻酔作用がある。短時間に高濃度の蒸気を多量に吸入すると急性中毒を起こす。又、皮膚に繰返し触れるとき膚炎を起こす

【環境影響】分解性 112~129% (by BOD)\*トルエンのデータ

## 6. 応急措置

【皮膚に付いた場合】汚染した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は医師の手当を受ける。

【目に入った場合】直ちに清浄水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。

【吸入した場合】患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には人口呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。

【誤飲した場合】多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えても吐かせようとしてもいけない。

## 7. 火災時の措置

【消火方法】初期の火災には、粉末・炭酸ガス・乾燥砂を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断する事が有効である。又、延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物などの冷却をする。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

【消火剤】粉末、二酸化炭素、泡(アルゴーム)、乾燥砂が有効である。

8. 漏洩時の措置

- ・ 少量の場合には、ウエス等で拭き取り密閉できる空容器に回収する。
- ・ 多量の場合には、土砂等で流れを止めると共に乾燥砂、土等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

## 9. 取扱及び保管上の注意

【取扱】

- ・ 取り扱いは換気の良い場所で行う。
- ・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・ 取り扱いの都度、容器を密缶する。
- ・ 火気、衝撃火花、高温物等による着火源を生じない様に注意する。
- ・ 静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- ・ 容器を転倒、落下、衝撃を加える等の乱暴な取り扱いをしてはならない。

【保管】

- ・ 容器は直射日光を避け、冷暗所に密缶して保管する。
- ・ 火気、熱源より遠ざけ、可燃物を近くに置かない。
- ・ 長期間の保管を避ける。

## 10. 暴露防止措置

安全管理上の留意事項…

1. 火気厳禁とする。
2. 皮膚からも吸収されるので、素手等で直接触れない。
3. 高濃度の蒸気を吸収すると急性中毒となる。

4. 空容器は蒸気が残存しているので注意する。

5. 漏洩飛散した場合の処理でも防護衣の上に防火服を着装する。

## 【管理濃度】

### 【許容濃度】

	メチルイソブチルケトン	トルエン	メチルエチルケトン
A C G I H (91年～92年)			
T L V - T W A	50ppm 205mg/m <sup>3</sup>	100ppm(変更提案中) 377mg/m <sup>3</sup> (変更提案中)	200ppm 590mg/m <sup>3</sup>
T L V - S T E L	75ppm 307mg/m <sup>3</sup>	150ppm 565mg/m <sup>3</sup>	300ppm 885mg/m <sup>3</sup>
日本産業衛生学会勧告値(92年)	50ppm 200mg/m <sup>3</sup>	100ppm 380mg/m <sup>3</sup> 200ppm	200ppm 509mg/m <sup>3</sup>
OSHA PEL TWA	100ppm	300ppm(上限値) 500ppm/10M(最高値)	200ppm
NIOSH REL TWA	200mg/m <sup>3</sup>	100ppm 200ppm(上限値)	590mg/m <sup>3</sup>
MSHA TWA	100ppm 410mg/m <sup>3</sup>	100ppm(皮) 375mg/m <sup>3</sup> (皮)	200ppm 590mg/m <sup>3</sup>

## 【設備対策】安全管理・ガスの検知

測定機：可燃性・有毒ガス測定機、可燃性ガス警報機  
検知管：炭化水素用・メチルエチルケトン用

### 貯蔵上の注意

火気厳禁、密封、直射日光を避け換気の良い冷暗所保管

## 保護具

防毒マスク(有機ガス用)、保護メガネ、不浸透性の手袋

## 11. 物理／化学的性質

【外観】有色の粘性液体 【臭い】有機溶剤臭 【比重】0.91(20°C)\*原液として 【引火点】-41.1°C \*DME

【粘度】5,000cps(20℃) 〈B型粘度計〉 【発火点】 約500℃ 【沸点】 — 【融点】 — 【蒸気压】 —

【溶解度】水に不溶、アルコール、ベンゼン、有機溶剤と任意に混合。【エアゾール缶の製品圧力】4.0±0.5kg/cm<sup>2</sup>(25℃)

## 12. 危険性情報

【引火点】 -41.1°C \*DMEとして

【発火点】 約 500 °C

【爆発範囲】 〈参考〉 \*トルエン 1.2 ~ 7.1 vol%

使用溶剤各々の爆発範囲から考えてもきわめて引火しやすい。空気との混合ガスは引火爆発する。蒸気は空気より重く低所に滞留しやすい。火気厳禁。容器は密栓し冷所に保管する。

【加熱・燃焼】 危険性有 加熱により容器が爆発する。

燃焼により有毒ガス(一酸化炭素)が発生する。

【水との接触】 危険性無

【空気との接触】 危険がある。蒸気は空気と混合して爆発の危険がある。

【混触等】 危険性有 酸化剤との混触により発火することがある。

### 13. 有害性情報

【皮膚に触れた場合】 皮膚炎をおこす。

皮膚から吸収され中毒をおこす。

【眼に入った場合】 粘膜に付着したとき激しく痛み、炎症を起こす。

【吸入した場合】 気管を刺激し、頭痛、めまい、吐気をおこす。

高濃度の蒸気を吸入すると、興奮状態をへて麻酔状態になり死亡することがある。

### 【刺激性】

メチルイソブチルケトン		トルエン	メチルエチルケトン
ラビット	500mg/24H:MILD	ラビット	435mg:MILD
ラビット	40mg:SEVERE		500mg:MODERATE
	500mg/24H:MILD	ラビット	13, 780ug/24Hopen:MILD
		2mg/24H:SEVERE	
		100mg/30S Rinse:MILD	

### 【急性毒性】

メチルイソブチルケトン (RTECS)		トルエン (RTECS)	メチルエチルケトン (RTECS)
ラット	LC50 8, 000ppm/4H	マウス LC50 5, 320ppm/8H	マウス LC50 40g/m3/2H
		ラット LCL0 4, 000ppm/4H	ラット LCL02, 000ppm/4H
モルモット	LCL0 1, 600ppm		ヒト TCL0100ppm/5M
		ヒト TCL0 200ppm	
経口毒性		経口毒性	経口毒性
マウス LD50	2, 671mg/kg	ラット LD50 5, 000mg/kg	マウス LD50 4, 050mg/kg
ラット LD50	2, 080mg/kg	ヒト LDLO 50mg/kg	ラット LD50 2, 737mg/kg
経皮毒性		経皮毒性	
ラビット	LD50 12, 124mg/kg	ラビット LD50 13g/kg	
静脈注射			
ラット	LD50 1, 960mg/kg		
腹腔内注射		腹腔内注射	腹腔内注射
マウス LD50	268mg/kg	マウス LD50 1, 126mg/kg	マウス LD50 616mg/kg
		ラット LDLO 800mg/kg	モルモット LDLO 2, 000mg/kg
皮下注射			
カエル	LDLO 920mg/kg		

## 14. 環境影響情報

- 【分解性】 測定データなし
- 【蓄積性】 測定データなし
- 【魚毒性】 測定データなし
- 【その他】 有用な情報なし

## 15. 廃棄上の注意

密閉できる金属性容器に入れ、廃油・廃塗料として産業廃棄物処理業者に依頼する。  
 廃棄する場合には都道府県条例に従い焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。

- ・ケイソウ土に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ・焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。

注意：燃焼により有毒ガス(塩化水素)が発生する。

## 16. 輸送上の注意

取扱及び保管上の注意の項の記載による他、引火性の強い、有害液体に関する一般的な注意による。

その他、消防法等の法令に定める所に従う。

## 17. 適用法令

- ・消防法 第2条危険物第4類第1石油類非水溶性液体(200L)\*・メチルエチルケトン・トルエン
- ・毒物及び劇物取締法 第2条別表第2劇物(引火性のもの)\*トルエン・メチルエチルケトン
- ・労働安全衛生法 施行令別表第1危険物(引火性のもの)\*トルエン・メチルエチルケトン  
 施行令別表第6の2有機溶剤(第2種有機溶剤)\*メチルイソブチルケトン・トルエン・メチルエチルケトン  
 施行令第18条名称等を表示すべき有害物(メチルイソブチルケトン/トルエン及びこれを含有する製剤その他のもの。ただし含有量5%以下のものを除く。)\*メチルイソブチルケトン・トルエン
- ・航空法 施行規則第194条告示別表第3引火性液体G-等級2\*トルエン・メチルエチルケトン
- ・P R T R 法 第1種 No. 227 該当物質 トルエン 【CAS】 108-88-3 含有量:1製品あたり34ml

## 18. その他

- 文献：
- ・危険物データブック : 消防庁警防研究会(昭和63年)
  - ・産業中毒便覧
  - ・12093の化学商品 : 化学工業日報社発行
  - ・化学品安全管理データブック : 化学工業日報社発行
  - ・適用法規総覧 : 化学工業日報社発行

記載内容の問い合わせ先： 化成品課 T E L : 03-5718-7425

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い申し上げます。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。